



松本糸魚川連絡道路ニュース Vol.43

地域を支える松本糸魚川連絡道路の整備

～長野県大町建設事務所と大町市役所より継続的に情報を発信します～

現在、幅の細い三つのルート帯案を設定し、最適なルート帯を選定するために評価項目を設定しています。今回は、評価項目についてご紹介します。



幅の細いルート帯の比較評価項目案

| 分野 | 評価項目案 | 評価の視点案(例) |
|-----------------|--------------|---|
| I. 交通 | ①交通の円滑化 | ●地域高規格道路としての機能(長野自動車道などへのアクセス性) ●交通環境の改善 ●推計交通量 |
| | ②災害に強い道路 | ●地震、土砂災害、浸水などの影響 ●災害時の代替機能、大規模被災時の復旧のしやすさ ●高次救急医療機関への速達性 |
| | ③防災拠点とのアクセス性 | ●災害時の防災拠点とのアクセス性 |
| II. 環境 | ④環境の保全 | ●住環境への影響(大気・騒音・振動など) ●自然環境への影響(植生・公園など) |
| | ⑤景観・文化財の保全 | ●景観、文化財などへの影響 ●道路からの眺望 |
| III. 土地利用・市街地整備 | ⑥土地利用への影響 | ●土地利用(用途地域、農振農用地など)への影響 |
| | ⑦安全な暮らしの確保 | ●市街地の防災性向上 ●地域分断への影響 |
| IV. 社会・地域経済 | ⑧まちづくりとの連携 | ●I・Cと都市機能(商業施設や観光拠点[黒部ダム・大町温泉郷など])とのアクセス性 ●大町市のまちづくり施策との連携・適合性 |
| | ⑨市民の利便性 | ●東部地域(美麻支所・八坂支所)とのアクセス性 ●市民のアクセス性 |
| | ⑩地域の活性化 | ●道の駅設置の容易性 ●物流の効率化 |
| V. 事業性 | ⑪経済性 | ●事業費 ●維持管理費 |
| | ⑫施工性 | ●現道・JR・河川への影響 |
| | ⑬効果の早期発現 | ●段階的な供用の実現性 |

※評価の視点と方法は現在検討中であり、表の記載は一例です。

最適ルート帯を選定するために、各ルート帯の特徴を評価する項目を設定し、優位性を判断します。5分野・13項目を評価項目案として設定し、評価します。各評価項目には評価の視点を設定し、それぞれの視点で評価をしていきます。他の視点や評価方法については現在検討していますので、今後お示ししていきます。

■問い合わせ 大町建設事務所整備・建築課計画調査係 Tel.23-6534(直通) Fax23-6532
Eメールomachiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp